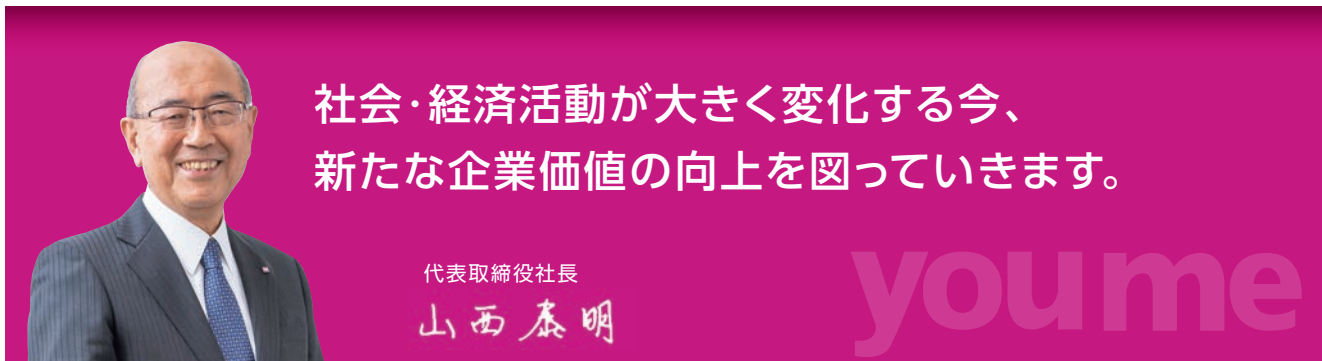


# 第61期 第2四半期 報告書

2021年3月1日▶2021年8月31日





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が続き、社会・経済活動の本格的回復には至らず、先行き不透明な状況が継続しています。また、夏場の天候不順なども加わり消費環境は低調に推移しました。

そのような状況の中、当社グループでは、2021年4月に第二次中期経営計画を策定・公表し、創業から取り組む地域への貢献をより深めるといふ想いから、経営理念を「社員が誇りと喜びを感じ、地域とお客さまの生活に貢献し続ける」へと刷新し、これをベースに10年後のありたい姿として2030年長期ビジョンを定めました。さらに、急激に変化する環境に対応すべく、「SM改革」「GMS改革」「グループ経営の強化」に取り組み、「DX推進」により各戦略を下支えし、「ESG戦略」も推し進めることとしました。

特にコーポレート・ガバナンス体制の強化においては、企業価値の向上を図るとともに、多様性の確保を推進するため、独立社外取締役として青山直美氏を選任しました。加えて、持続的な成長に向けた健全なインセンティブとして経営陣の株式報酬制度を導入しました。

中核事業である小売事業では、新型コロナウイルス感染症への対策として、買い物かご除菌装置の導入拡大や、セルフレジなど非接触対応の強化、ワクチン接種会場の提供など、

地域とお客さまの安全・安心への取り組みを強化しました。また、売場での三密による不安心理を払拭するよう、休日型から平日型へ集客策の見直しをすすめるとともに、休業・時短要請などに伴う店舗稼働状況に連動したコスト構造の実現に努め、筋肉質な経営体質の定着に注力しました。

2021年4月には「DX」の大きな柱である「ゆめアプリ」を全面リニューアルし、バーコード決済やデジタルクーポン等の新機能を付加することで個人別販促を強化しました。

小売周辺事業では、電子マネー「ゆめか」やショッピングクレジットの新規会員獲得などにより、収益の拡大を図りました。2021年4月の新「ゆめアプリ」リリースに合わせ、新規カード会員の獲得にも注力し、「ゆめか」の累計発行枚数は前期末における852万枚から当期末では876万枚となり、当社グループにおけるカード戦略が深まり、キャッシュレス取扱高は前年を上回りました。

コロナ禍において、消費者の行動や意識、社会・経済構造が大きく変化する中で、当社グループも変化の時を迎えています。デジタル技術をより積極的に活用しながら、お客さま一人ひとりに寄り添う施策とともに、全従業員が誇りを持って働ける環境整備にも取り組むなど、あらゆる角度から企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

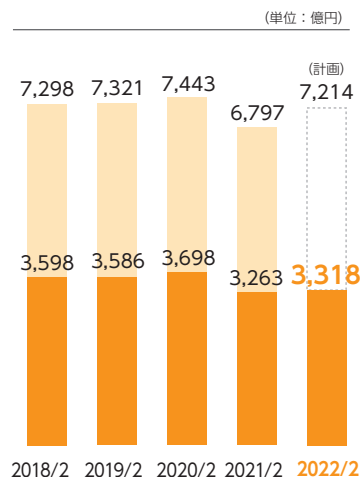
進化し、深化する「youme」を。  
地域になくはない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



### 連結財務ハイライト

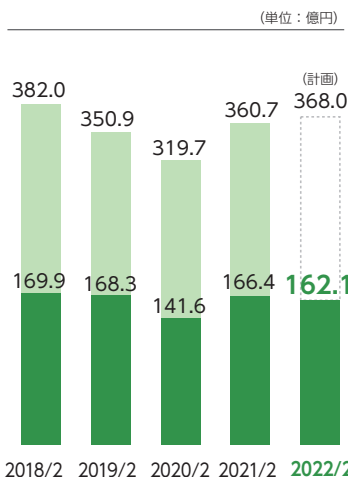
#### 営業収益

3,318 億円	前年同期比 101.7%
----------	-----------------



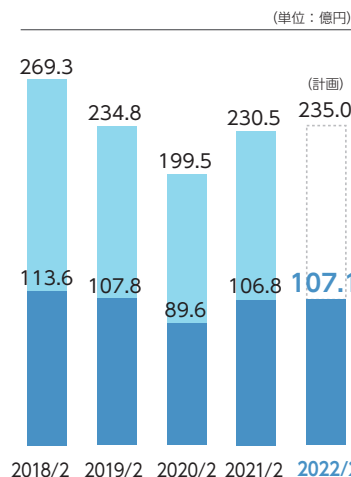
#### 経常利益

162.1 億円	前年同期比 97.4%
----------	----------------

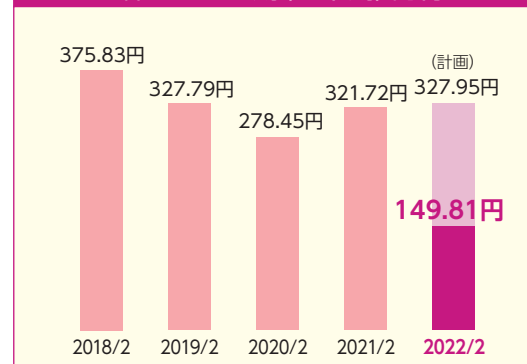


#### 親会社株主に帰属する四半期純利益

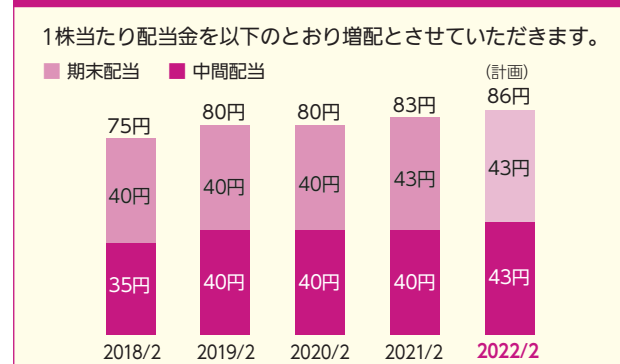
107.1 億円	前年同期比 100.4%
----------	-----------------



#### 1株当たり当期(四半期)純利益



#### 1株当たり配当金



# 革新を胸に、挑戦の60年

2021年11月3日、イズミは創業60周年の節目を迎えました。

昭和、平成、令和と、時代の変化に呼応して先進的な店づくりを行い、地域とお客さまに貢献するため奮闘した「挑戦の60年」を振り返ります。

創業期 1961~1979	1961	<p><b>株式会社いづみ創業 いづみ八丁堀店オープン</b></p> <p>株式会社いづみの社名は「こんこん湧き出る泉」になぞらえて命名されました。1号店のいづみストア八丁堀店は、11月3日にオープン。中四国初のスーパーとあってお客さまの長蛇の列ができ、やむを得ずシャッターを何度も下ろし、入店規制を行いました。その後は9年にわたり5回もの増築・増床を行い、売場面積は165坪から1,900坪に拡大し、進化を続けました。</p>	 <p>オープン当初の八丁堀店</p>
	1967	<p><b>いづみ駅前店オープン</b></p>	
	1973	<p><b>初の郊外店 いづみ祇園店オープン</b></p> <p>いづみはモータリゼーション時代の到来を見越して、中国地方では初、全国的にもまだ珍しい郊外型大規模店に挑戦。1973年3月に、いづみ祇園ショッピングセンターをオープンしました。500台の無料駐車場を備え、食料品や日用品、家電などの売場と飲食街が集まったショッピングセンターは話題的に。開店当日は、付近が大渋滞してしまうほどのにぎわいでした。</p>	 <p>駐車場がマイカーで埋め尽くされた、いづみ祇園店</p>
成長期 1980~1989	1980	<p><b>イズミへ社名変更</b></p> <p>さらに親しまれる企業を目指して、社名を「いづみ」から「イズミ」へ変更。創業時から愛されてきたクローバーマークも、シンプルで力強い朝日が昇る図案へと変更し、イメージを一新しました。</p>	 <p>旧ロゴ(左)から新ロゴ(右)へ、創業20周年を前にイメージ刷新</p>
	1987	<p><b>aiカード導入</b></p> <p><b>東京証券取引所市場第一部上場</b></p>	 <p>1987年当初のaiカード 電子マネーゆめか クレジット機能付きゆめカード</p>

躍進期 1990~1999	1990	<p><b>ゆめタウン誕生</b></p> <p>ゆめタウン高梁、東広島のオープンを皮切りに、公共性を備えた複合型大型ショッピングセンター「ゆめタウン」の大量出店がスタートしました。</p> <p>オープン時のゆめタウン東広島(1990年)。当時、東広島市は広島大学をはじめとした教育機関の集積が進み、学園都市として発展していました</p>	
	1995	<p><b>九州への進出</b></p> <p>1995年、ついにゆめタウンは九州への初出店を果たしました。地域密着を目指し、ロゴや制服、店内の設計や仕入れ体制までを徹底的に見直し。特に広島と九州で異なる食の好み、に誠実に対応したことが、お客さまの支持につながりました。</p>	 <p>九州1号店のゆめタウン遠賀</p>
	1998	<p><b>ゆめタウン高松オープン</b></p>	
変革期 2000~2010	2004	<p><b>ゆめタウン光の森オープン</b></p>	
	2008	<p><b>ゆめタウン広島オープン</b></p> <p>九州で蓄積したノウハウを生かし、創業の地・広島に、30年ぶりの大型店を開店。三世代を意識した店づくりを進めました。</p>	 <p>広島市中心部に新店したゆめタウン広島</p>
	2010	<p><b>電子マネーゆめか誕生</b></p>	
新生期 2011~2016	2012	<p><b>ゆめマート小倉東オープン</b></p> <p>小型店の新業態開発に向け、ゆめマート小倉東を開店。食品スーパーにドラッグストアを併設して利便性を高めました。</p>	 <p>平面駐車場を備えたゆめマート小倉東</p>
	2015	<p><b>ゆめタウン廿日市オープン</b></p> <p><b>スーパー大栄*・ユアーズ・デイリーマートが子会社に</b></p> <p>3社とのM&amp;Aで、西日本でのイズミのシェアが拡大。互いのノウハウを生かし、店舗運営の効率化を進めています。 ※現ゆめマート北九州</p>	
	2017	<p><b>新業態 LECTオープン</b></p> <p>知・食・住をテーマにした新業態LECTが誕生。体験型イベントなどが楽しめる時間消費型の店づくりを実践しています。</p>	 <p>リアル店舗の新たな価値を創出したLECT</p>
未来期 2017~2021	2018	<p><b>セブン&amp;アイと業務提携</b></p> <p>イズミは(株)セブン&amp;アイ・ホールディングスと仕入れの統合などを開始しました。</p>	
	2021	<p><b>FC事業を開始</b></p> <p>専門店をイズミの直営売場として運営するFC事業を開始。ゆめタウン夢彩都に導入したFC1号店の3COINS+plusが好評です。12月1日には、ゆめタウン下松の3階にPlugs Market下松店がオープン予定。</p>	

# お客さまとともに、地域とともに、テナントや社員とともに イズミグループのSDGsへの取り組み

イズミは「you me あふれるMIRAI」  
「サステナブルなMIRAI」の実現に向けて、  
〈お客さま〉〈地域〉〈テナント〉  
〈社員〉それぞれの分野でSDGsを推進しています。  
今回の特集では、イズミグループ全体で取り組んでいるESG(環境面・社会面)の具体的な取り組み例をご紹介します。



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 再生可能エネルギーの有効利用 店舗屋上で太陽光発電

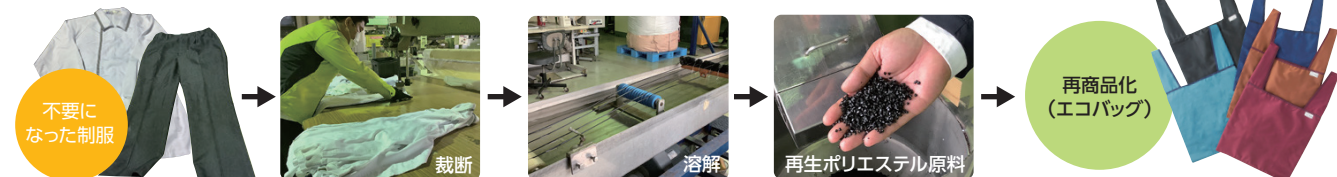
2021年6月から、店舗の屋上や屋根への太陽光発電パネル設置工事を進めています。9月末までに20店舗で発電を開始。20店舗分の太陽光発電で、1年間に3,355tのCO<sub>2</sub>排出量削減効果が期待されます。また、約2,131万円のコストダウンも見込んでいます。



新規設置店舗  
【ゆめタウン】 邑久・筑紫野(別館)・東広島(別館)・益田・斐川  
【ゆめマート】 日田・三田尻・筑後・うきは・南小野田・八木・美作・神西・木太・沼田・八幡・青山・八本松・津山

### 店舗スタッフの制服を回収・再生する取り組み 古い制服をエコバッグに再生 (ゆめアプリ「ら・ら・ら・キャンペーン」の景品としてお配りしました)

イズミでは、店舗スタッフの制服を回収・再生するプロジェクトに取り組んでいます。古くなった制服は、リサイクル専門工場に運び、異物チェック、裁断、溶解などの工程を経て、再生繊維に生まれ変わります。再生繊維は、エコバッグとして再商品化されました。



### 楽しみながら食品ロス削減や子ども食堂を支援 「もぐもぐチャレンジ」店舗拡大

イズミでは、楽しみながら食品ロスを減らす「もぐもぐチャレンジ」に取り組んでいます。これは賞味期限・消費期限のせまった商品に「もぐにいい」シールを貼り、シール10枚で景品が当たる取り組みで、食品ロスを削減します。さらに、シール1枚につき1円分を子ども食堂に寄付する「ビッグチャレンジシート」も店内に掲示し、地域の子ども食堂の支援にもつなげています。



### ご家庭で余った食品を各地のフードバンクへ 「フードドライブ」の推進

食品ロス削減への取り組みの一つとして、「フードドライブ」実施店舗も拡大しています。「フードドライブ」とは、米や缶詰など、ご家庭であまっている食品を持ち寄り、必要としている福祉団体や施設などに寄付する活動です。ご家庭の「もったいない」を地域の「ありがとう」に変え、持続可能な社会を目指していきます。



### コロナ禍の買い物に安心感を増すために

#### 「買い物かご除菌装置」を導入拡大

イズミでは、広島大学病院感染症科と株式会社ヒロテックと共同で「買い物かご除菌装置」を開発し、広島県や岡山県などの54店舗に先行導入しました。

紫外線直接照射で新型コロナウイルス不活化効果99.9%以上で、従来よりも効果的かつ短時間で除菌可能と認められたことから、中国・九州地方のゆめタウン・ゆめマートの各店舗への本格導入を開始。現在98店舗に導入しております。



#### 店舗・本社でワクチン職域接種を実施

6月26日(土)、イズミ本社で新型コロナウイルスワクチンの職域接種が始まりました。7月からは店舗にも接種会場を開設。イズミグループ全体(専門店含む)で10月19日(火)現在、14,297人が1回目の接種を終え、13,854人が2回目の接種を完了しました。今後も従業員の安全を守り、お客さまにより安心・安全にお買い物をしていただけるよう、取り組みを続けます。



イズミ本社に設けられた接種会場

ゆめタウン博多接種会場

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。

各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客さまに新たな驚きと感動をお届けしてまいります。

## 株式会社 ゆめマート熊本

スーパーマーケット事業を通じて地域に貢献してまいります。

令和2年7月豪雨から1年を迎えるにあたり、甚大な被害を受けた人吉・球磨地域の特産品を販売する企画を実施いたしました。

人吉市長をはじめ、商工会議所や観光協会などのご協力を得て、特産品を製造されている事業所を数多くご紹介いただき、「がんばろう!人吉・球磨」と銘打ち、24店舗で80アイテムの商品を販売いたしました。引き続き、スーパーマーケット事業を通じて地域に貢献できる企業を目指してまいります。



人吉球磨豪雨災害復興プロジェクトロゴマーク



日本茶 あゆの甘露煮 球磨焼酎

## 株式会社 ユアーズ

『アバンセ紙屋町シャレオ店』新規オープン!

2021年7月に「アバンセ紙屋町シャレオ店」(紙屋町シャレオ南通り・広島銀行本社付近)を新規オープンいたしました。「ライフスタイルセレクション」をコンセプトとしたコンビニサイズ(35坪)の新業態です。

「アバンセ」プライベートブランドや人気の地元ベーカリー、スイーツ専門店などと連携し、アバンセ厳選のフルーツサンドや挽きたてピーナッツバターも取り揃え、お客さまからもご好評をいただいております。



店舗外観



フルーツサンド

## 株式会社 ゆめマート北九州

都市型モデル店『ゆめマート管松』リニューアルオープン!

2021年5月、ゆめマート管松がリニューアルオープンいたしました。売場のレイアウト変更やお客さま用トイレのリニューアル、単身世帯が多い都市型商圏の特性に合わせた惣菜の強化を行いました。

また、店頭にはアマゾンで注文した商品が受取れるAmazon Hubを新設いたしました。リニューアル以降は新しいお客さまが増え、これからも地域の多くのお客さまに必要とされ続ける店舗を目指してまいります。



店舗外観



Amazon Hub

## 株式会社 イズミテクノ

ふくやま産業交流館(ビッグ・ローズ)大規模接種会場として地域に貢献いたしました。

指定管理者として管理を開始した「広島県立ふくやま産業交流館ビッグ・ローズ」では、新型コロナウイルスワクチンの「大型接種会場」としてご利用いただき、2021年6月~7月の期間中には約5万4千人の方が接種されました。施設の指定管理者として不具合なく管理を行うことができ、2021年9月以降も65歳以下の接種会場として使用が決定しております。今後も地域社会との繋がりを強固とし、社会の活性化と未来づくりに努めてまいります。



広島県立ふくやま産業交流館 ビッグ・ローズ



新型コロナウイルスワクチン「大型接種会場」

## 株式会社 ゆめカード

クレジットのWEB即時発行スタート!  
カードの到着を待たずに利用可能に。

2021年6月より、クレジットのWEB受付にて即時発行を開始いたしました。ゆめアプリのコード決済とゆめオンラインでの決済ですぐに使えます。カード到着までのチャンスロスを防ぎ、即日利用の取込みを実現するとともに、新たな顧客層の取込みによりWEB経由の入会増加に繋がっています。今後もWEBやアプリといったデジタル媒体を活用し、顧客向けサービスの向上および収益力強化に取り組んでまいります。

最短5分で即時発行!!

ゆめタウンで!  
ネットのお買い物で!  
すぐに使える!!



年会費  
入会金  
無料

## イズミ・フード・サービス 株式会社

新規事業「焼肉丼 炙り一番」オープン

2021年4月、ゆめタウン大竹に新規事業「焼肉丼 炙り一番」1号店がオープンいたしました。主力商品は、ブロック肉を毎日店舗でカットし、炙りたてで香ばしくフルーティーな味わいが自慢の「炙り焼肉丼」。また、本場盛岡直送でのど越しがクセになる「盛岡冷麺」と赤白2種類のスープが選べるうまみたっぷりの「サンドゥブ」。オープン以来、多くのお客さまにご好評いただいております。



炙り焼肉丼

盛岡冷麺

## 業績ハイライト

営業収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
<b>3,318</b> 億円	前年同期比 <b>101.7%</b>	<b>162.1</b> 億円	前年同期比 <b>97.4%</b>	<b>107.1</b> 億円	前年同期比 <b>100.4%</b>

### 連結決算の推移

単位:百万円

	通期			第 2 四 半 期	
	2020年2月	2021年2月	2022年2月計画	2020年8月	2021年8月
営業収益	744,349	679,778	721,400	326,353	331,844
前年同期比	<b>101.7%</b>	<b>91.3%</b>	<b>106.1%</b>	<b>88.2%</b>	<b>101.7%</b>
営業利益	31,888	35,781	36,700	16,457	15,970
前年同期比	<b>90.4%</b>	<b>112.2%</b>	<b>102.6%</b>	<b>116.2%</b>	<b>97.0%</b>
経常利益	31,979	36,078	36,800	16,641	16,214
前年同期比	<b>91.1%</b>	<b>112.8%</b>	<b>102.0%</b>	<b>117.5%</b>	<b>97.4%</b>
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	19,953	23,053	23,500	10,680	10,719
前年同期比	<b>84.9%</b>	<b>115.5%</b>	<b>101.9%</b>	<b>119.1%</b>	<b>100.4%</b>
総資産	490,106	489,692	—	481,470	467,700
純資産	226,264	245,411	—	236,310	252,535
1株当たり四半期(当期)純利益	278.45円	321.72円	327.95円	149.05円	149.81円
1株当たり純資産	2,991.24円	3,244.56円	—	3,117.30円	3,350.33円

### [参考] 単体決算の推移

単位:百万円

	通期			第 2 四 半 期	
	2020年2月	2021年2月	2022年2月計画	2020年8月	2021年8月
営業収益	700,142	634,583	674,000	303,528	309,779
前年同期比	<b>101.9%</b>	<b>90.6%</b>	<b>106.2%</b>	<b>87.3%</b>	<b>102.1%</b>
営業利益	26,026	29,128	30,100	12,822	12,651
前年同期比	<b>89.3%</b>	<b>111.9%</b>	<b>103.3%</b>	<b>113.9%</b>	<b>98.7%</b>
経常利益	26,240	29,420	30,200	13,100	12,851
前年同期比	<b>89.9%</b>	<b>112.1%</b>	<b>102.7%</b>	<b>115.7%</b>	<b>98.1%</b>
四半期(当期)純利益	17,053	17,461	19,400	7,957	8,683
前年同期比	<b>83.3%</b>	<b>102.4%</b>	<b>111.1%</b>	<b>108.7%</b>	<b>109.1%</b>
総資産	423,476	423,212	—	411,519	406,353
純資産	177,249	189,151	—	182,500	193,997
1株当たり配当金	80.00円	83.00円	86.00円	40.00円	43.00円

## 連結財務諸表

### [連結] 貸借対照表

単位:百万円

	前期末	当第2四半期末		前期末	当第2四半期末
	2021.2.28	2021.8.31		2021.2.28	2021.8.31
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	107,112	87,362	流動負債	113,596	92,740
現金及び預金	25,306	9,132	支払手形及び買掛金	47,367	33,339
受取手形及び売掛金	42,497	43,719	短期借入金	1,300	6,900
商品及び製品	21,661	20,855	1年内返済予定の長期借入金	19,756	17,474
仕掛品	20	59	未払法人税等	7,983	5,257
原材料及び貯蔵品	458	507	賞与引当金	2,204	2,853
その他	17,717	13,612	役員賞与引当金	36	6
貸倒引当金	△ 550	△ 523	ポイント引当金	2,416	2,506
固定資産	382,580	380,337	商品券回収損失引当金	115	115
有形固定資産	330,539	328,760	建物取壊損失引当金	117	432
建物及び構築物(純額)	155,281	152,539	その他	32,298	23,855
土地	163,136	163,192	固定負債	130,684	122,424
その他(純額)	12,121	13,029	長期借入金	88,335	79,804
無形固定資産	10,690	10,934	役員退職慰労引当金	915	88
のれん	2,441	2,174	利息返還損失引当金	146	139
その他	8,249	8,760	建物取壊損失引当金	436	—
投資その他の資産	41,350	40,641	退職給付に係る負債	8,852	9,018
その他	41,896	41,205	資産除去債務	8,267	9,040
貸倒引当金	△ 546	△ 563	その他	23,731	24,332
			負債合計	244,281	215,164
			(純資産の部)		
			株主資本	231,200	238,105
			資本金	19,613	19,613
			資本剰余金	22,545	22,580
			利益剰余金	189,072	196,709
			自己株式	△ 30	△ 799
			その他の包括利益累計額	1,294	1,369
			その他有価証券評価差額金	1,171	1,235
			退職給付に係る調整累計額	123	134
			非支配株主持分	12,915	13,060
			純資産合計	245,411	252,535
資産合計	489,692	467,700	負債純資産合計	489,692	467,700

総資産	<b>4,677</b> 億円
	前期末比 ▶ 219億円減少
負債	<b>2,151</b> 億円
	前期末比 ▶ 291億円減少
純資産	<b>2,525</b> 億円
	前期末比 ▶ 71億円増加

・現金及び預金は、前期末日が銀行休業日であったために仕入債務等の資金決済が当期に持ち越されたこと等により16,174百万円減少しました。

・当第2四半期の設備投資額は6,065百万円であり、これは主に既存店舗の活性化及びDX投資等によるものです。有形固定資産は、減価償却実施後で1,778百万円減少しました。

・流動資産その他は、前期末日が銀行休業日であったために売上預け金の入金当期中に持ち越されたこと等により4,105百万円減少しました。

・支払手形及び買掛金は、前期末日が銀行休業日であったために買掛金の資金決済が当期に持ち越されたこと等により14,027百万円減少しました。

・流動負債その他は、設備未払金の減少及び前期末日が銀行休業日であったために未払金決済が当期に持ち越されたこと等により8,443百万円減少しました。

・短期借入金及び長期借入金は、5,213百万円減少しました。

・未払法人税等は、当第2四半期中の納付により2,726百万円減少しました。

・利益剰余金は、内部留保の上積みにより7,637百万円増加しました。

・自己株式は、期中に買取請求分を含め200千株取得しました。その結果、自己株式の残高は前期末に比べて768百万円増加しました。

・これらの結果、自己資本比率は51.2%となり、前期末の47.5%に比べて3.7ポイント上昇しました。

## 連結財務諸表

### [連結] 損益計算書

単位:百万円

	前第2四半期 2020.3.1~2020.8.31	当第2四半期 2021.3.1~2021.8.31
<b>営業収益</b>	<b>326,353</b>	<b>1</b> → <b>331,844</b>
売上高	309,408	315,182
売上原価	237,506	243,266
売上総利益	71,901	71,915
営業収入	16,944	16,661
営業総利益	88,846	88,577
販売費及び一般管理費	72,389	72,606
<b>営業利益</b>	<b>16,457</b>	<b>15,970</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	134	118
仕入割引	85	96
持分法による投資利益	71	17
その他	808	605
<b>営業外収益合計</b>	<b>1,101</b>	<b>837</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	372	295
その他	543	298
<b>営業外費用合計</b>	<b>916</b>	<b>593</b>
<b>経常利益</b>	<b>16,641</b>	<b>2</b> → <b>16,214</b>
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	0	44
投資有価証券売却益	2,001	0
助成金収入	-	248
その他	-	11
<b>特別利益合計</b>	<b>2,001</b>	<b>305</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	25	58
減損損失	1	233
店舗閉鎖損失	-	85
感染症関連損失	2,074	140
その他	144	19
<b>特別損失合計</b>	<b>2,245</b>	<b>537</b>
税金等調整前四半期純利益	16,397	15,983
法人税、住民税及び事業税	4,941	4,810
法人税等調整額	△ 61	284
法人税等合計	4,879	5,095
四半期純利益	11,518	10,887
非支配株主に帰属する四半期純利益	837	168
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>10,680</b>	<b>3</b> → <b>10,719</b>

### 損益の状況

**1 営業収益** 3,318億円 前年同期比 ▶ 101.7%

- ・営業収益は前年同期比5,490百万円(1.7%)増加し、331,844百万円となりました。これは、主に当社において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、感染対策を講じながら各地域の状況に応じた経営を行い、また、昨年休業を余儀なくされた専門店の営業再開等が営業収益に寄与したことによるものです。
- ・売上総利益は、71,915百万円(前年同期比13百万円増)となりました。売上高対比では22.8%となり前年同期に比べて0.4ポイント低下しました。これは、主に当社において直営部門の在庫圧縮及びロス削減等に努めた一方、荒利率の低い専門店の売上が増加し、それにより相対的に荒利率の高い直営部門の売上構成が低下したこと等によるものです。
- ・販売費及び一般管理費については、筋肉質な経営体制の定着に注力し、コスト構造の最適化を図り、前年同期比217百万円(0.3%)増加の72,606百万円となりました。売上高対比では23.0%となり前年同期に比べて0.4ポイント低下しました。
- ・これらの結果、営業利益は前年同期比487百万円(3.0%)減少の15,970百万円となり、売上高対比は5.1%と前年同期に比べて0.2ポイント低下しました。

**2 経常利益** 162.1億円 前年同期比 ▶ 97.4%

- ・営業外収益は、前年同期比263百万円(23.9%)減少の837百万円となりました。一方、営業外費用は、支払利息の減少などにより、前年同期比323百万円(35.2%)減少の593百万円となりました。
- ・これらの結果、経常利益は前年同期比427百万円(2.6%)減少の16,214百万円となりました。売上高対比は5.1%と前年同期に比べて0.3ポイント低下しました。

**3 親会社株主に帰属する四半期純利益** 107.1億円 前年同期比 ▶ 100.4%

- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比38百万円(0.4%)増加の10,719百万円となりました。売上高対比は3.4%と前年同期に比べて0.1ポイント低下しました。

### [連結] キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前第2四半期 2020.3.1~2020.8.31	当第2四半期 2021.3.1~2021.8.31
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,397	15,983
減価償却費	7,704	7,879
株式報酬費用	-	22
のれん償却額	383	266
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 22	△ 9
受取利息及び受取配当金	△ 134	△ 118
支払利息	372	295
持分法による投資損益(△は益)	△ 71	△ 17
助成金収入	-	△ 248
固定資産売却損益(△は益)	0	△ 44
固定資産除却損	25	58
投資有価証券売却損益(△は益)	△ 2,001	△ 0
減損損失	1	233
店舗閉鎖損失	-	85
感染症関連損失	2,074	140
売上債権の増減額(△は増加)	1,860	△ 1,222
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,541	719
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 14,725	△ 14,027
その他	△ 1,412	△ 1,227
小計	12,994	8,765
利息及び配当金の受取額	140	123
利息の支払額	△ 422	△ 340
助成金の受取額	-	248
感染症関連損失の支払額	△ 1,888	△ 140
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△ 4,714	△ 7,347
その他	△ 22	11
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,085</b>	<b>1,320</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△ 7,733	△ 7,501
有形固定資産の売却による収入	0	128
無形固定資産の取得による支出	△ 499	△ 1,176
投資有価証券の売却による収入	2,536	8
その他	500	241
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 5,196</b>	<b>△ 8,298</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,600	5,600
長期借入れによる収入	-	700
長期借入金の返済による支出	△ 9,247	△ 11,513
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 859
配当金の支払額	△ 2,866	△ 3,081
非支配株主への配当金の支払額	△ 34	△ 33
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△ 56	△ 7
その他	△ 3	△ 2
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>391</b>	<b>△ 9,197</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,280	△ 16,174
現金及び現金同等物の期首残高	8,982	25,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,262	9,132

### キャッシュ・フローの状況

**営業活動によるキャッシュ・フロー** 13億円の収入

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

- ・主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益15,983百万円及び減価償却費7,879百万円です。
- ・主な支出項目は、仕入債務の減少額14,027百万円、法人税等の支払額7,347百万円及び売上債権の増加額1,222百万円です。

**投資活動によるキャッシュ・フロー** 82億円の支出

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出7,501百万円です。これは主に、前期における惣菜工場の新設等に係る設備未払金の決済や当期の既存店舗の活性化及びDX投資等によるものです。

**財務活動によるキャッシュ・フロー** 91億円の支出

営業活動及び投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

- ・主な収入項目は、短期借入金の増加額5,600百万円です。
- ・主な支出項目は、長期借入金の返済による支出11,513百万円及び配当金の支払額3,081百万円です。

**現金及び現金同等物の残高** 91億円

■ 会社概要

(2021年8月31日現在)

設立年月日 1961年10月27日  
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号  
 TEL 082-264-3211(代)  
 資本金 19,613,856,196円  
 従業員数(連結) 正社員 4,461名  
 パートタイマー 10,879名(1日8時間換算)

店舗数(連結) 195店舗(GMS・SC 64店舗、NSC 3店、SM 121店舗、その他 7店舗)

**中国エリア:94店舗**  
 GMS・SC 39店舗 NSC 1店舗 SM 52店舗 その他 2店舗

**九州エリア:84店舗**  
 GMS・SC 19店舗 NSC 2店舗 SM 61店舗 その他 2店舗

**四国エリア:12店舗**  
 GMS・SC 4店舗 SM 8店舗

**その他のエリア:5店舗**  
 GMS・SC 2店舗 その他 3店舗

■ 役員一覧

(2021年8月31日現在)

代表取締役社長	山西 泰明
取締役専務執行役員	梶原 雄一郎
取締役専務執行役員	三家本 達也
取締役	黒本 寛
取締役	町田 繁樹
社外取締役	似鳥 昭雄
社外取締役	米田 邦彦
社外取締役	青山 直美
常勤監査役	川西 正身
社外監査役	堀川 智子
社外監査役	岡田 弘隆

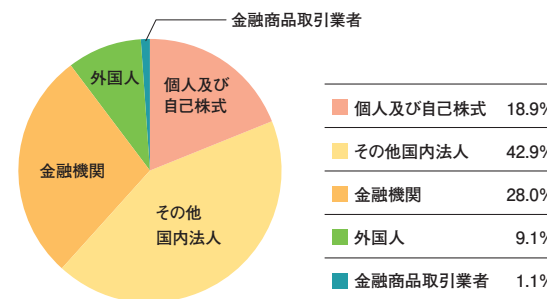
常務執行役員	藤井 洋二郎
上席執行役員	徳田 隆
執行役員	沼本 真輔
執行役員	河崎 智広
執行役員	溝口 晋
執行役員	山西 大輔
執行役員	山野 正道
執行役員	阿部 睦夫
執行役員	市川 富雄
執行役員	岡本 圭史
執行役員	小林 篤志
執行役員	平 公成

■ 株式の状況

(2021年8月31日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株  
 発行済株式の総数 71,665,200株  
 株主数 9,929名  
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況



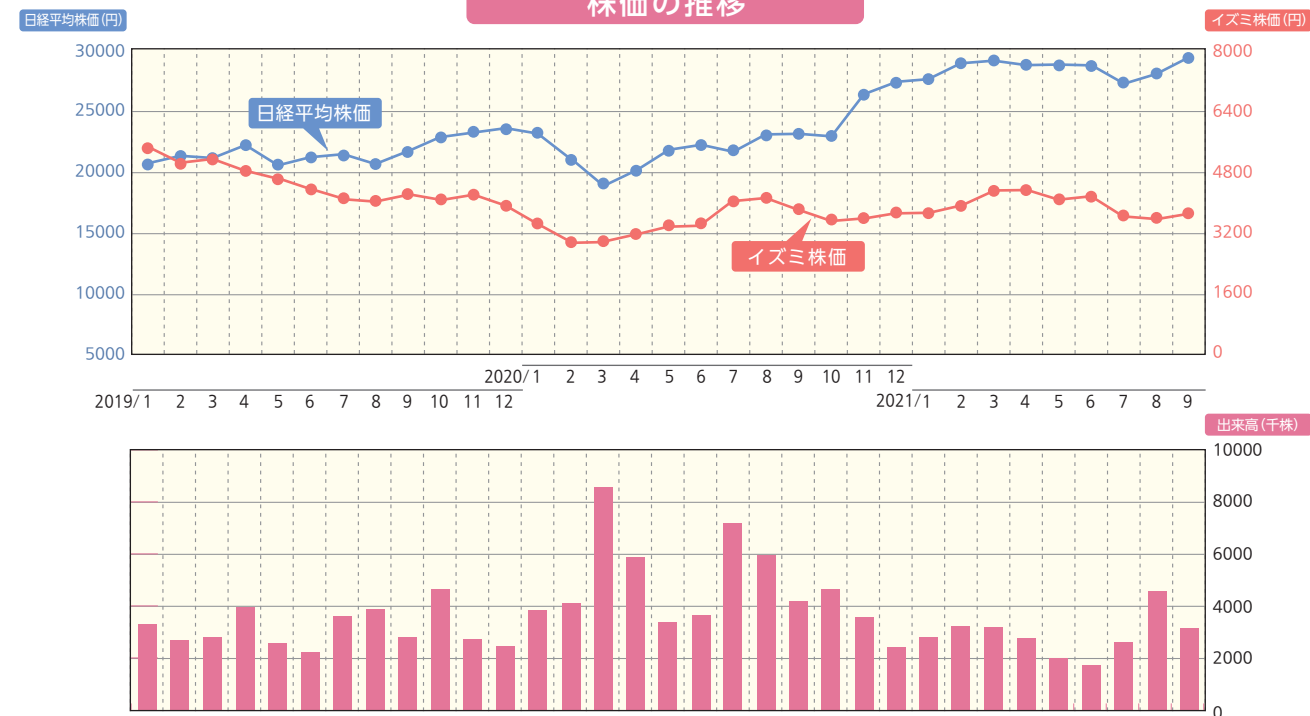
■ 大株主の状況

(2021年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.9%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,491千株	4.9%
(株)日本カस्टディ銀行(信託口)	3,295千株	4.6%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.9%
全国共済農業協同組合連合会	2,091千株	2.9%
山西 泰明	2,043千株	2.9%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.8%
イズミ広島共栄会	1,968千株	2.8%

(注)持株比率は、自己株式(187,224株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移





## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先]	☎ 0120-782-031
[WEB照会先]	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>

### ■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

### ■ 特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。  
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

## 株主優待制度

### 株主ご優待券またはギフト券(選択制)

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおりお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚 (100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、1千円以上のお買上につき、1千円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。

### 長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末日時点で300株以上保有の株主様に、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフト券」のいずれかを「年1回」贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券※1	ギフト券※2
	現行制度に 株主優待券を お選びの株主様	現行制度に ギフト券を お選びの株主様
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

※1「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、ゆめシティ、LECTの各店舗、(株)ユアーズ、(株)デイリーマート、岡山ロッツ、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2「ギフト券」は全国でご利用いただけるものを贈呈いたします。

### 泉美術館ご招待券の贈呈

2021年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

公益財団法人

**泉美術館**



#### ■ 開館時間

午前11時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

#### ■ 休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)

年末年始(12月30日～1月1日)

※展示替えによる臨時休館日

#### ■ 住所

〒733-0833

広島市西区商工センター 2丁目3番1号 エクセル5階

TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>